

研究課題名	鋸歯状腺腫症（serrated polyposis syndrome：SPS）患者に発生した大腸腫瘍性病変のゲノム解析
研究期間	2026年 3月 12日 ～ 2028年 3月 31日
研究の対象	SPSと診断された方で、1995年1月～2025年12月の間に広島大学病院で大腸にある腫瘍（鋸歯状病変または癌）に対して、内視鏡切除または外科切除で治療を受けられた方。
研究の目的・方法	研究目的：SPSの患者さんは大腸腫瘍が多発することが分かっていますが、発症に関わる具体的な機序は明らかになっていない部分があります。腫瘍を遺伝子レベルで解析し、発癌に関わる因子を明らかにすることを目的としています。 研究の方法：研究対象者の診療録（カルテ）内にあるデータと病理組織の遺伝子解析の結果から、該当する大腸腫瘍の特徴を検討します。
研究に用いる試料・情報の種類	情報：年齢、性別、カルテ番号（施設内照合のみ）、病歴、併存疾患、内視鏡所見、病理結果等。 試料：病理組織のブロック検体 試料・情報の管理責任者：広島大学大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎
利用または提供を開始する予定日	2026年 3月 12日（実施許可日以降）
個人情報の保護	得られた試料・情報から氏名・生年月日・住所等の特定の個人を識別できる記述を削除し、代わりに新しく研究用の番号を付けて取り扱います。
外部への試料・情報の提供	ありません。
研究組織	研究責任者 大学院医系科学研究科 消化器内科学 教授 岡 志郎 研究機関の長 広島大学理事 田中純子 研究分担者 病院 消化器内科 准教授 卜部 祐司 大学院医系科学研究科 消化器内科学 大学院生 迫 友紀子 既存試料・情報の提供機関 土谷総合病院 病理部 嶋本 文雄 済生会広島病院 消化器内科 松原 由佳

その他	本研究で用いる試料・情報について、SPS 症例は単施設では症例が少ないため、将来的に多施設での研究にする可能性があります。その場合は、改めて倫理審査委員会での承認及び研究機関の長の許可を得た上で使用します。将来、別の研究に使用する場合は、大学のホームページ（ https://med.ethics-system.hiroshima-u.ac.jp/rinri/publish.aspx ）へ掲載し、拒否の機会を保障します。
研究への利用を辞退する場合の連絡先・お問合せ先	<p>研究に試料・情報が用いられることについて、研究の対象となる方もしくはその代諾者の方にご了承いただけない場合は、研究対象としませんので下記の連絡先までお申し出ください。お申し出による不利益が生じることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されている場合には、提供していただいた情報や試料に基づくデータを結果から取り除くことが出来ない場合があります。なお、公表される結果には、特定の個人が識別できる情報は含まれません。</p> <p>また、本研究に関するご質問等あれば下記連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報等の保護や研究の独創性確保に支障がない範囲内で、研究計画書および関連書類を閲覧することができますので、お申し出ください。</p> <p>広島大学病院 消化器内科 准教授 担当者：卜部 祐司 〒734-8551 広島県広島市南区霞 1-2-3 電話番号：082-257-5193</p>